

善行青少年 9団体

地道な活動で明るい社

わたしたちも参加しています奉仕



元気なあいさつを大切に野球や地域交流を続けています。

あいさつを伝統に健全育成 城北スワローズ

城北スワローズは昭和52年に結成、城北小学校の児童が少年野球ソフトボールを中心に活動しています。九州親善野球大会に那覇地区代表として出場。マラソン大会や駅伝大会、地域の交流行事やボランティア活動にも積極的に参加しており、子どもたちの健全育成の場として、学校や父母会などから高い評価をうけています。練習などをおしてあいさつはしっかりとするように指導しており、役割分担を果たすことで責任感も身につけてきているようです。

め、登校拒否、学校崩壊とさまざまな問題が噴出しています。特に青少年問題は複雑化・深刻化し、犯罪に繋がるケースも多くなっています。

このような状況下で片やおもしろいや奉仕の精神に目覚め、ボランティアに、地域活動に積極的に関わりを持つ青少年や指導者も多くなっており、善行の輪も確実に広がっています。

今月号の紙面では、青少年9団体の活動状況を紹介します。



毎日、早朝に登校して、校内をきれいに清掃しています。

良き校風づくりの担い手 神原中学校女子バスケット部

雨天や学校が休みの日以外は毎日、早朝登校して校内や周辺道路の清掃奉仕を行ない、夏休みなどは校内のプランターや花壇への水やりをしています。

部活で体育館を使ったり、試合でみんなに応援してもらったりしているのでその感謝の想いを清掃で表現しています。

早朝清掃をととしての朝のあいさつや、部活の中からの目上のひとに対する礼儀も自然に培われてきているようです。

生活態度や学習への取り組みなどは他の模範となっており、神原中学校の良き校風づくりの担い手となっています。



パレットくもじ前のイベントで手話ソングを披露するネットワークのみなさん。

心をつなぐ貴重な体験 ヤング手話・ボランティアネットワーク

メンバーは平良あゆみさん・吉田ゆきのさん・新垣梨奈さん(真和志高校)、久田さやかさん(那覇商業高校)、新崎春奈さん(首里東高校)の5人を中心に小・中学生、高校生で構成、手話や手話ソングを学びながらボランティア活動をしています。

耳の不自由な方々との交流、小・中学校などでの手話ソング指導、手話劇や手話童話の発表などを行い、首里公民館「ピア手話の会」へも参加しています。老人クラブでは手話ソングがハビリティにもなるということで喜ばれました。

また、児童館の手伝い、まつりの手伝い、老人ホームのそうじ、募金活動など、ボランティアをおしていろいろな方々と心をつなぐ貴重な体験となっています。

離島で音楽交流を展開

首里中学校合唱部・吹奏楽部

「生の音楽に触れる機会の少ない離島の皆さんに私たちの歌と演奏を」と、平成5年の久米島からスタートして、これまで宮古、渡嘉敷、渡名喜、座間味、伊是名で音楽交流を展開してきました。

久米島では会場を訪れた、450名余の皆さんからあたたかい声援と拍手を贈ってもらい、ともに大合唱を楽しみました。渡嘉敷島では島の生徒との港での別れに感激し、渡名喜では地元の小中学校の校歌をいっしょに歌い、島の方々と喜びを分かち合いました。

部員達にとって、離島の豊かな自然と文化、暖かい人柄にじかに接することは学校生活や今後の社会生活に大きな励みとなります。

伊是名村で音楽交流。「合唱と吹奏楽の調べ」を催しました。

